

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和元年度】

(評価日 令和2年6月25日)

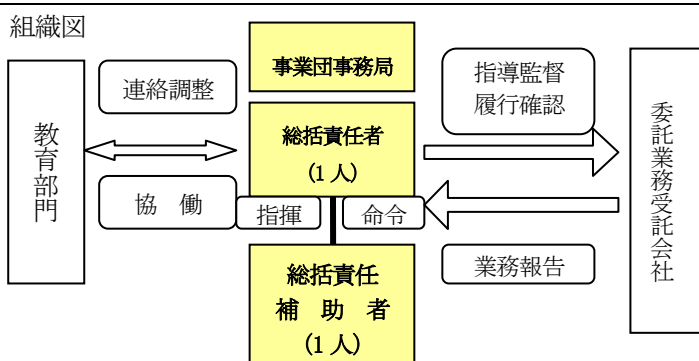
1 施設の概要

施設名	岩手県立県南青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県胆沢郡金ヶ崎町永沢下館 49-1 電話 0197-44-2124 FAX 0197-44-2126 ホームページ http://www.echna.ne.jp/~kenritul/ 電子メール kenritukennan@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和56年3月27日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、協同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】98,785.21㎡ 【建物面積】4,837.78㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○キャビン ○付帯施設 ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	2名 (平成31年4月1日現在) (内訳) 正職員 1名 期限付臨時職員 1名 日々雇用職員 3名		
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間	休館日	毎週月曜日(ただし、臨時開所することがある。)、12月28日～1月4日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		30年度	元年度		—	—	期間平均	
第1四半期	11,665	12,159	10,816				11,488	
第2四半期	12,322	9,024	12,169				10,597	
第3四半期	6,428	6,137	6,317				6,227	
第4四半期	7,377	4,324	2,469				3,396	
年間計(実績)	37,792	31,644	31,771				31,708	
年間計(計画)		36,700	37,000					

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						備考
		30年度	元年度		—	—	期間平均	
収入	利用料金収入	0	0	0				
	指定管理料	35,309	34,935	34,213			34,574	
	自主事業収入	277	354	433			393	
	小計	35,586	35,288	34,646			34,967	
支出	人件費	6,324	6,075	7,590			6,832	
	維持管理費	27,835	28,719	25,282			27,001	
	事業費	0	0	0				
	自主事業費	456	463	457			460	
	小計	34,615	35,257	33,329			34,293	
収支差額	971	31	1,317			674		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

把握方法	利用団体毎に利用評価票を提出いただいている。 利用者総合アンケートを実施している。	実施主体	県南青少年の家
------	--	------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 18件、要望 33件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
ご飯の量をもう少し増やしてほしい。	食堂の想定を上回る食欲だったので、今後、同様の団体が宿泊する場合には相応の対応する。		
入浴時間が短すぎた。宿泊人数によって時間を考慮してほしい。	今後、代表者との打ち合わせ時に利用人数等を確認し入浴時間を必要に応じて調整するなどの対応を行うこととする。		
朝食時間を早めてほしい。	本来の時間より20分早い時間としていたが、それより早い時間は難しいため、その旨ご理解いただいた。		

夏季期間の製氷設備の備え付けをお願いしたい。	緊急時の氷は用意している。その他の氷は、利用者側で用意していただくよう説明し、ご理解を頂いた。
飯盒の洗いが甘かったが、飯盒そのものが古いこともあり、新しいものにしてほしい。	予算がつき次第、更新する予定であるが、当面は洗浄の徹底を利用者へお願いしていく。
掃除の手順が分かりにくかったので、その説明をお願いしたい。	各清掃場所の道具入れロッカーに、清掃手順の説明書きがあることを利用者に説明し、ご理解頂いた。
第3営火場にくぼみがあり、キャンプファイヤーの際やりづらかった。	今後、砂利を敷き詰める等して改善する。
地震時の連絡・案内があればよかった。	就寝中の出来事であったが、発生した震度を踏まえ、非常時対応マニュアルに照らし合わせ、当直員が宿泊棟に出向いて対応した。
エアコンの設置をしてほしい。	扇風機の使用で対応いただいた。
テント泊でも入浴できるといい。	館内泊を含めた収容人数の関係から、原則テント泊利用は風呂なしとしている。館内泊の利用者が少ない場合など、余裕がある時は受け入れできる場合もあるので、事前に相談頂きたい旨を説明してご理解をいただいた。
子供用のカレーが辛かった。	大人用と子供用に分けて作ったが、思いのほか子供用が辛かった。原因は大人用カレールーを間違えて使用したものであり、食材を提供した食堂業者に注意するとともに、改善を図るよう指導をした。
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況のいかに問わず、懇切丁寧に対応して頂き有難かったです。 ・子供たちの対応に慣れており、分かりやすくかつ細かいところまで配慮頂き、良かったです。 ・明るくかつ楽しい雰囲気をもって接して頂き、感謝しています。 ・食材の保管管理についてまで十分な心配りを頂き、大変助かりました。 ・担当者の真剣で柔軟な対応に感激しました。 ・終始笑顔で元気よく子供たちに接して頂き、気持ちよく過ごすことが出来ました。 	

7 業務点検・評価（※）

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の施設であることを念頭に、いつでも、誰でも、気軽に、そして公平な利用の確保を図るため、業務内容についての情報公開を適切に行った。また、施設管理部門と教育部門との密接な連携・協働を図るため、所内で十分に協議・協力して管理運営を行った。 	B
	2) 県民の平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの団体に利用していただけるよう、一般企業等の利用も含め、利用形態に対応した受け入れを行った。 	

	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズを勘案し、年間7回の臨時開所を行なった。宿泊団体の無い日の体育館の夜間開放は、8団体、年間120回実施した。 	
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数37,000人	年間利用者数 31,771人 対目標値 △ 5,229人	C
	2) 上記目標値に向けた取組みと、増減内容の把握	<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加に向けた取組みは、他の社会教育施設との連携、利用プログラムの見直し、当所の空き状況の情報発信など創意工夫に努めるとともに、今後も少子化が見込まれる義務教育諸学校の利用のみに頼らない多岐方面に渡るPRの拡大を実施した。 増減については、利用団体数及び主催事業への参加者数は前年度より増加したものの、児童・生徒数の減少により1団体あたりの人数が減少していること、また、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者の受け入れを令和2年3月3日から3月31日まで休止したことにより、結果2,384名がキャンセルとなったことが影響した。 	
	3) 施設利用促進に係る広報等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、教育事務所その他団体に要覧・所報の配布を行うとともに、管内の市町村社会教育担当者会議・子育て支援会議等に参加し、冬季及び次年度利用の案内を行い協力を依頼した。また、マスコミ各社へ主催・自主事業等の開催案内及び取材依頼を行い、PRに努めた。 ホームページについては、リアルタイムな情報提供を行うとともに、利用者の問い合わせ等を想定し、施設の空き情報など利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。 ブログやフェイスブックを効果的に活用した主催事業の案内や終了事業の写真等掲載による広報活動を行った。 	

事業の実施状況	管理運営計画に基づく青少年の健全育成に効果的な事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業6事業（10回）を実施し、延 1,592 人の参加者を得た。継続して参加する方も増えている。 ・ 利用団体の評価は、設備、用具の整備状況の項目で「整備されている：77.0%、普通：23.0%」、満足度の項目で「大変満足 81.0%、満足 16.0%」となっており、団体受入れにおいて一定の成果を上げることができた。 	A
会計業務の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) 適正な契約業務と執行 2) 適正な会計処理の執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団会計処理規程に基づき、契約については県会計規則に準じて執行した。 ・ 事業団会計処理規程に基づき、関係法令等に照らし処理した。また、事業団本部との連携を密にし、関係書類は複数職員で確認するチェック体制を整え処理した。 	B
施設の維持管理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施 2) 公有財産の適切な管理 3) 備品台帳との整合性を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員による日常管理に加え、専門業者による保守委託等で、良好な状態を維持するよう努めた。 処置が必要な個所については、速やかに職員または業者による補修・修繕を行った。 ・ 日常点検及び安全点検を実施し、異常ある場合は職員間で情報共有し、安全及び利用の可否を判断するなど適切な管理に努めた。 ・ 損傷個所を発見した際には、安全性と機能性を回復するため、速やかに対応することを基本にして、職員で修理できるものは修繕材料を調達し、困難なものは業者に発注し修理した（施設修繕 11 件、設備・備品等修繕 15 件）。 ・ 老朽化等使用不能の備品は廃棄処分等の整理を進めた。 ・ 12 月に体育施設管理士による体育用備品等の一斉点検と並行してその他の備品についての点検・照合を行い、適切な管理に当たった。 	B
記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団規定に基づき、類型・年度毎に保管管理した。 	B

<p>自主事業等の取組み</p>	<p>施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の実施にあたっては、細部まで内容を詰めていくことを常例とし、所外で行う事業にあつては現地調査を行うなどきめ細かなプログラムを提供するよう努めた。 ホームページを活用し、リアルタイムな情報提供に努めるとともに、利用者との問い合わせ等を想定した利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。 地域との連携としては、「奥州カヌー愛好会」の協力によるカヌー体験会、「千貫石公園」への野外活動物品の貸し出し、近隣のホテル「みどりの郷」でのスケートリンク借上げによるスケート教室、夏油高原スキー場でのスキー教室及び「サッカーフェスティバル」では、地元サッカーチームの協力をいただいた。 季節ごとのトレッキング（年4回）、レッツスケート（スケート教室）においては定員を超える応募があり、安定した参加者を得た。ふれあいフェスティバル（施設開放事業）やサッカーフェスティバル等地域の方々を対象とした魅力ある自主事業を開催した。 	<p>B</p>
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点 改善を要する点 	<ul style="list-style-type: none"> 成果のあった点 自主事業においては、地域との連携を図りながら実施しており、参加者からも好評を得ているほか、ホームページ等を活用して利用促進へつなげる情報発信に取り組んだ。 改善を要する点 利用者数は、新型コロナウイルス感染症のため減少してしましたが、引き続き利用促進につながる取り組みに努めて欲しい。 	<p>B</p>	

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
<p>職員の配置体制</p>	<p>各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理計画書のとおり防火管理者等の資格取得に努め、適正に配置した。 	<p>B</p>
<p>苦情、要望対応体制</p>	<p>利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 寄せられた提言に対しては、利用者等の立場で適切かつ迅速に対応し、その結果を最大限取り入れた業務改善を継続することにより、利用者等の信頼と満足度の向上を図った。 利用評価票における意見・要望等は職員間で共有を図り速やかに改善するよう対応に努めた。 	<p>B</p>

危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って「非常時対応マニュアル」を作成し、有事の対応に万全を期した。 事業団実施の普通救命講習に参加したほか、年2回自衛消防訓練を実施した。 	B
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに「コンプライアンスマニュアル」の再確認をするとともに、毎月職員がコンプライアンス自己取組みを発表し合い、互いの参考とした。 コンプライアンスマニュアルに従い、年度初めに「個人情報保護」の職員研修会を実施し、個人情報が記載された書類等はキャビネットに収納して管理するとともに、廃棄する場合においてもシュレッダー破砕等により外部に流出しないよう管理を行った。 	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持	<ul style="list-style-type: none"> 協定書に基づく諸報告等については、期限を遵守するとともに事業団本部と連携を密にし、適正に処理を行った。 県による会計実地検査においても特に問題はなく、事業団内部調査における他施設の指導事項についても職員全体で共有・改善を行った。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> 成果があった点 概ね適正に運営されていると認められる。 新型コロナウイルス感染症対策では、県と連携して施設を適切に管理運営した。 改善を要する点 特になし。 		B

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
サービス向上の取組み	サービス向上のための研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 県及び事業団が主催する研修会に積極的に参加した。 接遇研修を受講後、所員に伝達講習を行い、サービス向上を徹底した。 	B
利用者サービス	利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持（衛生環境保持、安全点検、修	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに合わせて、休所日である月曜日を7回、臨時開所するとともに、宿泊団体の利用がないときの夜間の体育館を120回開放するなど、利用者の便宜を図った。 利用者の意見を反映した事業内容を検討し、開所時間や開所日の弾力的な運用、施設開放事業の拡充等を実施した。 適正な施設環境及び設備機能の維持 	B

	繕等) 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備	のため、必要に応じ専門業者へ維持保全に関する業務委託を行った。 また、定期的な安全点検の実施、速やかな修繕対応に努めた。 ・ 障がい者等が利用する場合は、宿泊室を一階の部屋にする等の配慮を行った。	
利用者アンケート等	1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善	・ 利用者には団体利用の都度、利用評価票の提出をお願いし、多様化する利用者ニーズの把握を行った。 ・ アンケートの集計、分析を行い、「施設」・「職員」・「満足度」の評価結果を職員で共有するとともにホームページに掲載するなど、施設運営や事業計画に反映させ、サービスの向上を図った。	B
(施設所管課評価) ・ 成果のあった点 ・ 改善を要する点	・ 成果のあった点 臨時開所を行うなど利用者のニーズに合わせた運営を行っているほか、利用者アンケートの実施結果を施設運営に生かしている。 ・ 改善を要する点 特になし。		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	・ 会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 ・ 収支実績は、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い施設運営ができた。	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	・ 収支については、当初計画に沿って進めた。コストの縮減については常に実効性のあるものか検証しながら事業担当者との協議し、無駄な予算執行の無いよう努めた。エコ・省エネ・節約について、職員への啓発とともに利用者への呼びかけにも取り組んだ。 ・ 当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金はなく、健全な経営を行っている。	B
(施設所管課評価) ・ 成果のあった点 ・ 改善を要する点	・ 成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ・ 改善を要する点 特になし。		B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」
 指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年間7回の臨時開所により、利用者の利便性を図った。・ 夜間の体育館を開放し、近隣のスポーツチームやスポーツ少年団の活動場所を提供するなど、利用回数は120回であった。・ 花壇や玄関脇プランターに夏花を植え、景観環境にも配慮して利用団体を迎えた。・ 大型ローラーを利用し、職員によるグラウンド整備に努めた。・ 閑散期を利用し、宿泊棟全室のベッドマットを起こし、全職員で清掃した。・ 委託業者と給食会議を開催し、利用者ニーズに対応した食事の提供等に取り組み好評を得た。・ ふれあいフェスティバルでは、町内の保育園、スポーツクラブのボランティア協力を得ることができ、地域との連携を深めた。・ サッカーフェスティバルは、好評であることから、令和元年度に引き続き年2回実施することとした。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 閑散期の利用促進のための手立てとして、地域の各団体（保育園、幼稚園、学童保育クラブ、子供会、高齢者団体等）との連携を目指し、年度当初の団体の総会等へ参加しPRを行った。今後も継続したい。 また、スポーツ少年団の体育館利用の減少があったことから、上記と併せてPRをしていきたい。・ 地区校長会議等に時間をいただき、当所のPRに努めたい。・ 当所の施設の紹介、年間行事と提供プログラムの紹介等、魅力ある事業内容を企画して、引き続きホームページ・フェイスブックやチラシ配布等で情報の提供を行い、利用者が気軽に参加できる場を提供していく。・ 宿泊利用者がいない夜間の体育館の開放などに今後も努める。・ 汚損が著しい宿泊室のベッドマットの一部を更新し、衛生管理に努めた。今後も研修用具等の物品を予算調整しながら更新したい。
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 建築後39年を経過し、施設設備の随所に老朽化の影響が出ており、施設の外壁・室内の模様替え・宿泊棟のトイレ改修・敷地フェンス・境界柵など全面的な改修が望まれる。 特にも敷地フェンス支柱が腐食して無くなっており、安全確保のための改修が望まれる。・ 主催事業や送迎に使用しているバスの老朽化が著しく、所管換えされることとなったが、長期間の利用は見込めないため、新規の更新が望まれる。・ キャンプ場及び多目的グラウンドの水はけが悪く降雨後数日間は野営希望団体のテント設営の場所に苦慮した。グラウンドコンディションが悪く利用団体に不便をかけている状況にあるため、暗渠排水等改修が望まれる。

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>施設の臨時開所や、利用促進につなげる広報活動を適切に行っており、施設利用者からも一定の評価を得ている。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>昨年度同様に、毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況等を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、修繕状況の把握に努めた。引き続き指定管理者と連携して適切な施設整備に努めたい。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>指定管理期間等について検討する必要がある。</p>

改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）

7（1）施設の利用状況

改善状況

（指定管理者から県への報告年月日：平成 年 月 日）

改善状況の確認

（確認年月日 平成 年 月 日）